

# 2010 年度山谷夜回りの会活動報告

2011/3/21  
文責 村井

## 1 はじめに

山谷夜回りの会をご支援いただきまことにありがとうございます。本年度の当会の活動報告書を皆様のお手元にお送りさせていただきます。

当会は2002年度まで、フランシスコ会中谷神父主催の『山里の家』の炊き出しグループとして活動してまいりましたが、ご高齢になられた中谷師の体力的な問題などの事情で、『山里の家』としての炊き出し活動が中止となったため、2003年度より『山谷夜回りの会』として新たに活動を開始いたしました。当会創立者でもあり、山谷で四半世紀にわたって野宿者の支援活動を続けていらっしゃった中谷師ですが、フランシスコ会の人手不足により、残念なことに今年の4月より長野県の教会への移動が決定いたしました。当会の活動は中谷師のご指導の賜物であり、他にも東京近辺の複数の箇所では野宿者支援団体が中谷師のよびかけで活動を始めた経緯がございます。野宿者支援のために大変大きなお仕事をされた中谷師にこの場をお借りして感謝の意を表させていただきます。

現在、震災関連のニュースを横目で見ながらこの原稿を書いております。皆様ご存じのとおり3月11日に発生した震災は東北・北関東各地に甚大な被害を及ぼしております。現状といたしましては被災地外からできることは義捐金への協力と、東京都や埼玉県等の各自治体で集めている物資の寄付、および被災地への物資の優先への協力ということになるかと思っております。当会ホームページでも被災地支援情報へのリンクを急遽開設いたしました。野宿生活をしておられる皆さんへの支援も必要ではございますが、被災地の被害は規模も大きく緊急性も高いと考えられます。当会としましては現在のところ被災地の皆様のための具体的な支援活動の目途は立っておりませんが、支援者の皆様におかれましては、義捐金は被災地へ優先的に送りいただき、被災地では募集していない中古の衣類や物品等は当会へお送りいただければと勝手ながら考えてございます。当会の活動資金は何とかやりくりをいたしますので、ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

今年度も非常に多くの方から活動への御支援を御寄付やボランティア参加の形でいただくことができました。どうもありがとうございます。当会が活動を継続できたのは、お米・梅干・海苔・毛布・衣類・日用品・献金、そして祈りと励ましなど、様々な形でご支援くださいました皆様のおかげでございます。社会全体にわたる大きな問題の前に、当会の働きは小さなものではございますが、皆様のお力添えをいただきながら、一人一人の小さな力を合わせて、引き続いて山谷地域の野宿生活の皆様への支援活動を続けていければ幸いです。来年度もご支援のほどどうぞよろしくお願いいたします。

簡単ながら、今年一年間の活動の様子をご報告させていただきます。

## 2 山谷の町の様子

山谷地域での動きとしましては、昨年度のリーマンショックの影響が徐々に終息しつつあるというのが全体的な様子かと思われまます。通常のに年と比べてはまだ野宿者の方の数は多いのですが、秋以降急激に増加した昨年度に比べてまだだいぶ落ち着いてまいりました。

ただ気になることといたしましては、川沿いの地域におきましては、相変わらず撤去の動きが続いていることがございます。川沿いの地域では野宿の方の人数は微減しているのですが、それ以上にテントを撤去させられているケースが多く、結果としてどこにも定住できない移動生活方の野宿の方たちが増えていまして。野宿の方々への追い出しが厳しくなってきた背景としましては、スカイツリー建設の影響もあるのではとも言われております。スカイツリー周辺を観光地化するにあたって、浅草や隅田川沿いの野宿の方たちを目障りだから追い出すというような行動を行政の側がとっているという話をあちこちから伺います。

それ以外の変化としましては、徐々にではありますが、若い野宿者が増えているということが挙げられるかと思えます。就職難や派遣切り等で家を失った若い人たちは山谷や釜ヶ崎ではなく、ネットカフェや深夜営業の飲食店などで夜を過ごすケースが多いという研究があるようですが、それだけではおさまらず、山谷にもそういう方たちがたどり着いてきているのかもしれませんが、ここ数年山谷地域では野宿の方の高齢化が進んでおり、労働者の街ではなく福祉の街への移行が見られておりましたが、社会全体での就職難の傾向によって大きく流れが変わりつつあるのかもしれませんが、就職率は毎年下がっておりますし、景気が良くなりそうは気配も残念ながらございませんので、今後山谷地域の野宿の方達の中に若い方たちが増えていく可能性は十分に考えられます。私たちの支援活動も注意深く様子を見守ってまいりたいと思えます。

### 3 おむすび

野宿の皆さまが一番必要とされるのは何と言っても栄養のある食べ物です。そのため夜回りで最優先してお配りしなければいけないのはおむすびになります。今年度もカトリック松戸教会とカトリック町田教会、そしてカトリック三軒茶屋教会の皆さまが一年間、心を込めておむすびを作ってくださいました。三教会の皆様他に定期的に大量のお米をご寄付くださる方、御海苔・梅干をお届けくださる方、教会から山谷までおむすびを運んでくださる方、その他にもたくさんの方々のご支援のおかげでおむすびの配布を継続できております。本当にありがとうございます。皆さまのおかげで、今年度は14943個ものたくさんのおむすびを山谷の皆様にお届けすることが出来ました。これは当会始まって以来の個数です。

来年度も山谷の皆様のお手元に心のこもった手作りのおむすびをお届けできればと思います。どうぞご支援をよろしく願いいたします。

### 4 衣類・日用品

今年度も皆様のご寄付のおかげで、ジャンパーとセーターなどの防寒具類や靴下など、需要の高い品を大量にお配りすることができました。ご寄附いただいた皆様、どうもありがとうございます。お配りした物資の詳細は別紙の表をご覧ください。

当会で可能な物資の保管と輸送には限りがございますので、今までの配布状況や野宿の皆様の声をもとに、可能な範囲での優先順位を検討いたしました。野宿生活が厳しいのは、やはり冬場ですので、越冬の対策により重点を置いた形での物資の購入と配布を行うことにいたしました。購入品の内で金額・数ともに最も多いのは毛布になります。野宿生活のほとんどの方は、着のみ着のまま移動生活をされているので秋になった時点では毛布等はほとんど持っておられません。寒くなるに従い徐々に毛布の需要が増えてまいります。冬の途中から毛布なしで野宿生活になる方もいらっしゃるしますので、寒い期間を通して毛布の配布は重要です。また、ズボン下は冬場の防寒用としての需要が高いので会の予算から購入する数を増やすことにいたしました。さらに、今年度から冬場の健康対策として市販の風邪薬を購入して、体調の悪そうな方を優先してお配りすることといたしました。他には暖を取るためのカイロの購入量も昨年度より増量しております。

ただ、ジャンパー・セーターは需要が高いのですが比較的高価なため、大々的な購入は見合わせております。毎年衣類の中で最も不足するのは男性物のジャンパー・セーターですので、もしご家庭に中古の物がございましたらぜひご寄付をよろしく願いいたします。

### 5 会計報告と口座について

今年度も皆さまから大変たくさんのご寄付をたまわりました。中でもおむすびづくりでも大変お世話になっております松戸教会からは、今年もバザー売り上げをご寄付としていただきました。また毎月定期的にお志を振り込んでくださった方もいらっしゃいました。皆様どうもありがとうございました。簡単ながら、2010年度の会計報告をさせていただきます。

具体的な使途といたしましては、毛布と防寒具、衣類・日用品の購入、ご支援をいただいた皆様への報告書の郵送費となっております。内訳といたしましては下の表のように、冬場の毛布・下着・日用品類の購入費が大きなウェイトを占める形となっております。

今年度の繰越金 2438 円は、2011 年度のおにぎり活動費や日用品購入費に充てさせていただきます。どうぞご了承下さい。

当会のご寄付の口座ですが、昨年度と同じく下記の口座となっております。こちらからお願いするのは変な話ではございますが、できればご寄付は被災地の皆様へ優先的にお送りいただければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

**郵便振込ご利用の場合**

口座番号：00180-8-429173

口座名称：山谷夜回りの会

**金融機関より郵貯銀行へお振込の場合**

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：019

預金種目：当座

店名：〇一九 店（ゼロイチキユウ店）

口座番号：0429173

以下に 2010 年度の会計報告を掲載させていただきます。

## 2010 年度山谷夜回りの会会計報告書

(2010 年 4 月 1 日～2011 年 3 月 31 日)

(単位:円)

	科目	金額
1. 収入の部 (A)	前年度繰越金	5828
	寄付金収入	1117000
	合計	<b>1122828</b>
2. 支出の部 (B)	毛布代 (850 枚)	340000
	下着類・日用品類代	757350
	通信費・印刷代	23040
	合計	<b>1120390</b>
3. 次年度繰越金 (A-B)		<b>2438</b>